

【資料1】

ツキノワグマの出没状況について

ツキノワグマの出没状況について

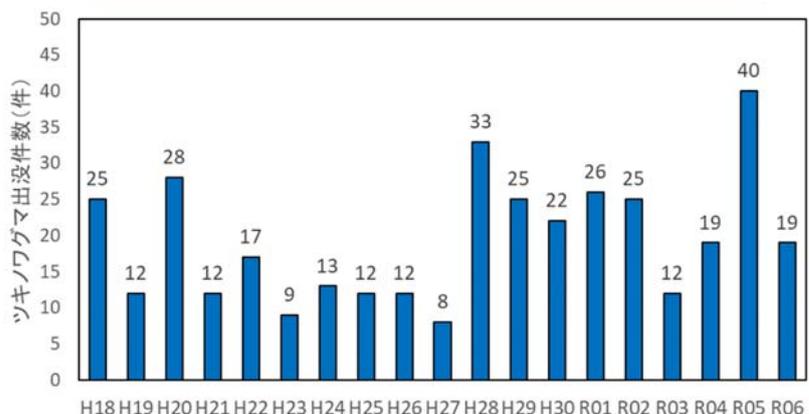
全国では

- 令和5年度にクマ類(ツキノワグマ、ヒグマ)の出没件数が **過去最多**(24,345件)、うち人身被害198件
- 令和6年度において既に **18件の人身被害が発生** (三重県調べ、R6年6月6日 正午時点)

三重県では

- 令和5年度の出没件数が **40件** (**過去最多**)
- 令和6年度は既に **19件**の出没情報 (令和6年6月6日 正午時点)

三重県におけるツキノワグマの出没件数の推移



令和6年度におけるクマ出没状況

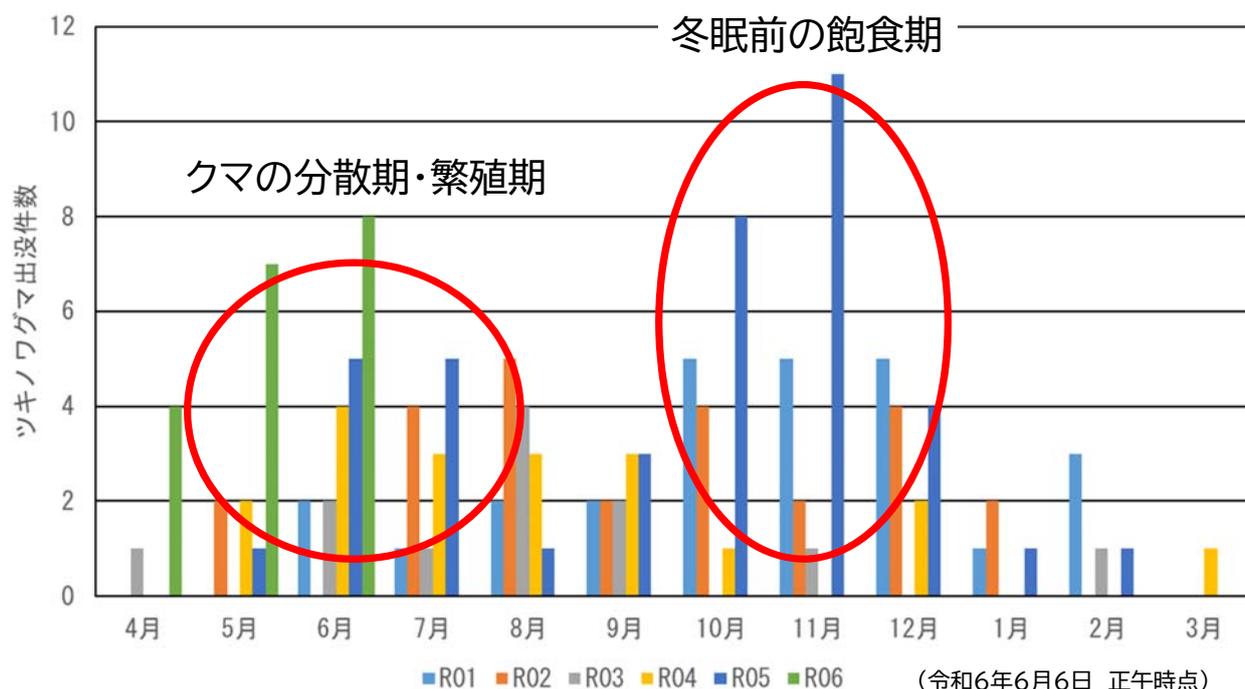
No.	日付	場所	出没の状況
1	R6.4.1	伊賀市	山林
2	R6.4.9	伊賀市	不明
3	R6.4.13	鈴鹿市	山林
4	R6.4.30	大紀町	道路沿い
5	R6.5.18	熊野市	林道沿い
6	R6.5.19	いなべ市	山林
7	R6.5.23	大紀町	川沿い
8	R6.5.25	熊野市	山際
9	R6.5.26	尾鷲市	道路沿い
10	R6.5.27	熊野市	山際
11	R6.5.30	尾鷲市	不明
12	R6.6.1	紀北町	川沿いの草むら
13	R6.6.2	熊野市	不明
14	R6.6.2	尾鷲市	道路沿い
15	R6.6.4	尾鷲市	山林
16	R6.6.4	熊野市	道路沿い
17	R6.6.4	紀北町	山林
18	R6.6.5	熊野市	山際
19	R6.6.5	大台町	山際



※ 寄せられた情報の中には、クマと断定できない情報も含まれています。

(令和6年6月6日 正午時点)

三重県におけるツキノワグマの月別出没件数



ツキノワグマの活動時期について

○5月頃(分散期): 若いクマが母グマから離れる時期
若いクマの出没が増加

○6～7月頃(繁殖期): オスがメスを求めて行動圏を拡大
普段、クマが出没しない地域で出没

○10～12月頃(飽食期): 冬眠前でクマの食欲が増す時期
多くの餌を求めて活発に行動

クマが冬眠をはじめる12月頃まで注意が必要

1 - 4

令和6年度第1回三重県鳥獣被害対策連携会議 R6.6.7

【資料2】

ツキノワグマへの新たな対応について

- 1 出没の未然防止
- 2 出没時の対策強化
- 3 県民へ注意情報の発出
- 4 有識者への意見聴取

三重県におけるクマの新たな対応

1 出没の未然防止

○県内で任命している鳥獣保護管理員、自然環境保全指導員により、

- ・ 出没地域の重点的な見回り
- ・ クマの嫌がる活動(サイレン等を鳴らす)

を定期的にするなど、パトロールを強化

⇒ 6月中旬の研修終了後、順次開始

2-1

三重県におけるクマの新たな対応

2 出没時の対策強化

○ツキノワグマ出没時の関係機関との訓練を県主催で実施

参加機関: 県(知事部局、警察)、市町、猟友会、自治会

開催市町: 県内29市町を対象(8ブロックに分け、計8回実施)

【ブロックの単位】

桑名、四日市、津、松阪
伊勢、伊賀、尾鷲、熊野

⇒ 7月から順次開始



2-2

三重県におけるクマの新たな対応

3 県民へ注意情報の発出

○県ホームページにおいて、出没情報の県民への提供

⇒6月7日から提供開始

○ツキノワグマ注意情報を記載したチラシによる普及啓発

配布先：市町(教育委員会、観光協会含む)

山岳・スポーツクライミング連盟、JA、森林組合

⇒7月中旬に配布実施

ツキノワグマ出没情報の提供イメージ

県ホームページ上での情報提供イメージ

The image displays two screenshots of the Mie Prefecture homepage. The left screenshot is for a PC browser, and the right is for a smartphone. Both show a prominent yellow banner with the text '注意！クマ出没急増中' (Attention! Bear sightings increasing rapidly) and 'クマ出没情報マップ' (Bear sighting information map). Red dashed boxes and arrows labeled '追加' (Add) point to the banner on both devices. The smartphone version also shows a '追加' label pointing to a '緊急情報' (Emergency information) section at the top.

ツキノワグマ出没情報の提供イメージ

Mie Click Mapsにおいて位置と発見時の状況を公開



チラシによる注意喚起の概要



初夏は、クマの繁殖期や子別れの時期が重なり、クマが活発に行動することがあります。
山菜採りなど様々な場面でツキノワグマの被害に遭わないよう、次のことに注意してください。

クマと出会わないために	クマに出会ってしまったら	クマを集落に寄せ付けない
<ul style="list-style-type: none"> ○クマ鈴やラジオなどで自分の存在を知らせる ○見通しの悪い場所に不用意に入らない 	<ul style="list-style-type: none"> ○背中を見せない、走って逃げない ○目を合わせたまま、ゆっくりと後退し、その場を離れる(落ち着いて行動) 	<ul style="list-style-type: none"> ○クマの食べ物(生ごみ、庭先の果樹、農作物等)を家の周辺に放置しない ○集落周辺の藪の刈り払いを行い、クマが出没しにくい環境に

三重県におけるクマの新たな対応

4 有識者への意見聴取

○三重県自然環境保全審議会を開催し、ツキノワグマに関する県の施策の方向性について、委員から意見聴取

⇒ 7月に第1回審議会を開催

○林業者、狩猟者、有害捕獲事業者、登山客等へのアンケート調査（近年の目撃情報、過去からの増減の程度など）

⇒ 関係機関を通じて7月開始